

直江津区地域協議会だより

令和2年6月25日発行(第62号) 発行:直江津区地域協議会 編集:北部まちづくりセンター

4期目の地域協議会がスタート

4月に地域協議会の委員改選が行われ、4期目の地域協議会委員18名が新たに選任されました。5月20日(水)にレインボーセンターで新委員による初の地域協議会を開催し、会長・副会長の選任や、今後の地域協議会の運営方針などについて話し合いました。

協議の結果、会長には中澤武志さんが、副会長には青山恭造さんと田中美佳さんが、それぞれ選任されました。今後は、市長からの諮問事項や地域の課題を解決するための自主的審議事項、地域活動支援事業の審査・採択などについて協議していきます。



初会合の様子(5月20日)

《ご挨拶》

直江津区地域協議会 会長 中澤 武志 (中央四)

地域協議会委員になって10年経ちます。この間、全国的な課題である人口減・高齢化・空家増の問題は直江津でも年々深刻化しています。駅前の賑わいも影を潜め、早朝登校する小学生の数も目立って少なくなりました。いつ襲ってくるか分からない災害への備えもあります。課題は増え続けています。

数年来「まちづくり」について、話し合いを重ねていますが、何時・誰が・どうやって取り組むか、そこで足踏みしています。直江津には活性化に前向きな有為な人材も少なくありません。建設的な活動をしている団体も幾つかあります。地域協議会もそういう方々と手を携え、互いに知見を出し合って課題の解消に一步でも近づければと思っています。

副会長 青山 恭造 (中央五)

想像してみてください。うみがたりの東の屋台会館に市場や直江津名産販売所があったら、観光客を直ぐに帰さない、我々も行ける。オムレツは卵の殻を破らなければ作られない。殻を破り想像をかたちにすべく議論しましょう。

副会長 田中 美佳(国府二)

今回で2期目になりました。地域協議会の事を市民の皆様にご存知いただき、若い人にも参加して上越市の事に興味を持っていただけるように発信していきたいと思っています。

☆地域協議会を開催しました

第1回地域協議会	《5月20日(水) 午後6時30分～ レインボーセンター》
【協議事項】 会長・副会長の選任、地域協議会の運営等について ・会長、副会長を選任した後、協議会の運営方法について話し合いました。 また、地域活動支援事業について、制度の概要や審査方法等について事務局から説明がありました。	
第2回地域協議会	《5月26日(火) 午後6時30分～ レインボーセンター》
【協議事項】 令和2年度地域活動支援事業について ・提案のあった10件の事業について、全体協議を行い、質問事項を検討しました。	
第3回地域協議会	《6月12日(金) 午後6時30分～ レインボーセンター》
【協議事項】 令和2年度地域活動支援事業について ・各委員の採点結果を基に協議し、10件全ての提案事業について採択を決定しました。 また、残額(277万7千円)について、追加募集を行うことに決定しました。	

☆地域活動支援事業の採択事業 10 提案を決定しました

提案書受付順 (単位:千円)

No.	事業名・【団体名】	内容	採択額
1	クリーンナップ上越 in 五智事業 【ひまわり会】	海岸線の環境美化のため、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセン、コスモスなどの花苗を植え、草刈り、清掃などを実施する。	528
2	五智公園の整備、有効活用支援事業 【五智公園を育てる会】	五智公園の環境保全を行い魅力を高めることを目的に、植物の保護・育成、動植物紹介パネルの展示、湿地や林床の整備等を行う。	387
3	直江津地区高齢者いきいき支援事業 【直江津地区町内会長協議会】	町内会館等を会場に、ニュースポーツのスカットボールを楽しみ、高齢者の健康維持と子どもたちの健全育成、世代間交流を図る。	660
4	直江津駅前環境美化推進事業 【我がまちを愛する会】	直江津駅北側に季節の花を植えたプランターを設置し、毎日の水やり等の管理を行い、明るさと癒しを提供する。	73
5	米作り体験事業 【新光町3丁目町内会米作り体験実行委員会】	地域子どもたちに自然のサイクルを学んでもらうため、米作り体験を実施し、収穫した米を使った「餅つき」等を行う。	128
6	天王川クリーンナップ大作戦事業 【ライオン像の建物をまちづくりに活かす会】	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を目的に、直江津の重要な水辺空間である天王川周辺の清掃作業を地域住民全体で行う。	132
7	「直江津写真フェア」事業 【上越写真連盟】	「撮って発見直江津の魅力」をテーマに、直江津の魅力を再発見・発信することを目的とし、写真コンテストを開催し作品展示を行う。	490
8	鉄道の町「直江津」発信事業 【直江津鉄道振興会】	直江津が鉄道のまちであることを再確認し、次の世代に語り継いでいく機会とするため、交通の要衝「直江津」について講演会を行う。	210

9	直江津アートプロジェクト事業【くらしの美術館実行委員会準備会】	直江津の魅力の再発掘とアートによる地域活性化を目的に、国内外のアーティストと地域住民が協働してアート作品制作を行う。	3,146
10	〈直江津の歴史・食・人・文化をつなぎ紡ぐ〉事業【まちおこし直江津】	直江津の歴史や文化を次世代に継承するため、紙芝居を作成する。また、直江津の歴史的な人物「福永十三郎」の遺徳を偲ぶ四十物祭を行う。	1,169

☆採択額：計692万3千円



地域活動支援事業の追加募集を行います 〔募集額 277万7千円〕



■募集期間	<u>令和2年7月1日（水）から7月22日（水）まで</u>
■応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業提案については、まずは北部まちづくりセンターへご相談ください。 ・ご相談いただいたのち、所定の事業提案書に必要事項を記入し、説明資料（団体の規約、見積書、図面など）と合わせ、北部まちづくりセンターに提出してください（原則郵送）。 ・事業提案書は北部まちづくりセンターでお渡しします。また、市のホームページ（http://www.city.joetsu.niigata.jp 「地域活動支援事業」で検索）から様式をダウンロードすることができます。
■事業内容	<p>団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体等…5人以上で構成し、市内で活動する法人又は団体（政治や宗教活動を目的とする法人等又は営利法人を除く。）
■対象事業	<p>「身近な地域での課題の解決や活力の向上」のために行う事業であれば、種類や分野は問わず対象となります。</p> <p><u>※ ただし、次のような事業は対象とはなりません。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物品の購入や施設等の整備・修繕のみを目的とした、活動を伴わない事業 ・政治活動・宗教活動を目的とする事業 ・公序良俗に反する事業 ・国・県・市の他の補助制度と重複して助成を受けようとする事業 ・市に大規模な施設の設置や開発を求めるために行う事業（事業計画の策定や推進のための会議など） ・行政サービスの提供や公共施設の整備等を市に求める事業 ・提案団体の会員に補助事業の成果が限られる事業 ・地域の課題解消や活力向上に向けて、自らの活動によらずに貢献を図ろうとする事業

お問い合わせ

北部まちづくりセンター 上越市中央 1-16-1 上越市レインボーセンター内
 TEL：531-1337 FAX：531-1338
 メール：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

裏面あります

委員紹介

今回選任された委員 (副会長以下50音順 敬称略)

<p>磯田 一裕 (西本町一) 地域住民やまちづくり活動団体の皆様と連携し、直江津区の課題解決や新たな取り組みによる「生き生きとした直江津まち暮らしの実現」に向けて提案・協議・計画・実行していく決意を新たに2期目も頑張ります。</p>	<p>今川 芳夫 (西本町一) 協議会委員として、今年度から自身2期目となりますが、昨年までの経験を生かして直江津区の委員の名に恥じないよう地域の活性化に邁進するつもりでいます。宜しくお願いいたします。</p>	<p>河野 健一 (国府三) 上越・直江津区の豊かで多様な自然・歴史・文化、そして人的資源を地域づくりに活かすには、何をどうすれば良いのかを一住民の視点で考え、皆さんとより住みやすいまちにしていきたいと思えます。</p>	<p>久保田 幸正 (石橋) 地域には課題や要望が多くあり、その課題解決に取り組む。防災・通学路問題等の安全・安心な暮らしを守るまちづくり。健康寿命の延伸。観光や環境等、地域の活性化を図る等の取組を行ってきたい。</p>
<p>坂井 芳美 (五智新町) 委員になって2期目になります。まだまだ地域についてわからないことがあります。委員活動を通して直江津区の活性化のために微力ながら尽くしていきたいです。</p>	<p>竹田 禎広 (港町二) 今年度より委員となりました。行政との橋渡し役として民生委員としての立場を活かしながら直江津区の活性化を目指す皆さんの手助けになるように多少でも貢献できれば幸いです。</p>	<p>田中 実 (西本町三) 上越市はたくさんの歴史的文化があり、自分が知る上越市の魅力を地域協議会の委員と話し合い、直江津のまちづくりのために活動していきたいと思えます。</p>	<p>田村 雅春 (石橋) 街中の店舗が消え「買物難民」「通院が不便」という声に耳を傾け、公共交通の要の鉄道を活かし、バス等と連携した運行、安価な割引券を発行し解決を図る。同時に駅周辺の賑わいを創出する為、一歩でも前に進めるよう努力したい。</p>
<p>林 昌宏 (石橋) 地域協議会では、活発な話し合いを通じて委員の皆様と目標を共有し、祇園祭のように地域が一致団結してまちづくりに取り組んでいく、そんなきっかけを作っていければと思っています。</p>	<p>古澤 悦雄 (中央四) 直江津に生まれ育ったことに誇りと愛着を感じています。地域の要望をお聞きし、課題解決に最優先に取り組む、まちの活性化を図り、直江津を盛り上げていくことに尽力します。</p>	<p>増田 和昭 (石橋二) 住みよい直江津のまちを目指して、地域の皆さんといっしょにまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。</p>	<p>町屋 隆之 (中央一) まちづくりにも若い感覚をとの思いで活動し四期を数え、知命を迎えた身としても、若さや勢いだけではなく少しは視野を広げて物事を捉え、様々な観点から考えられるようになってきたのではないかと考えております。まだまだ若輩の身ですが、精一杯お役に立てるよう精進を重ねる所存でございます。</p>
<p>丸山 岳人 (西本町三) 委員として、地域の方々からの声に耳を傾け地域の方々からいろいろとご教示いただきながら、住みよい・住みたい・活気ある直江津をめざして、活動していきたいと存じます。</p>	<p>水澤 敏夫 (国府一) 各地域によって問題点、緊急性も異なり十数年間問題として残っている事項もあります。解決には地域住民、町内会、行政が目的を共有し協働して実現出来ると考えております。解決に向けて「私自身が何を出来るのか」自問しながら、4年間励みたいと思えます。</p>	<p>水島 正人 (港町一) 新人で有ります。先人と「一味同心」を願望発想、決断、実行共有「往古来今」を大切にして歴史と伝統を軽視せず一念発起の心で「自主自立のまち」実現を目指し知行合一の精神で微力ながら臨みます。</p>	